

せんなんネットワーク

第122号

発行：みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部

会員活動紹介

EM菌で角田をよりよい街に

角田市地域婦人会（角田市）

平成19年に設立された角田市地域婦人会は、主にEM菌を活用した取組を行っています。EM菌は、善玉菌の集合体で、農業・河川浄化・健康増進など様々な分野で活用されているそうです。角田市内の小学校でもEM菌を活用した環境教育が行われており、児童にその作り方や活用方法を説明するため、会長の鎌田三千子さんは定期的に小学校を訪れています。また、EM菌を使い、角田市の台山公園にある「ひょうたん池」の浄化にも取り組んでいるそうです。

こうした活動について鎌田さんは、「いろいろな人との出会いがあり、とても楽しい」

「活動を通して若い人との交流を増やし、自分の後ろ姿を見せられるよう頑張りたい」と話していました。

☆連絡先 【角田市生涯学習課】 角田市角田字牛館10 TEL 0224-63-2221



会長の鎌田さん

大人も子どももボードゲームの楽しさを

さくらボードゲーム会（柴田町）

代表の高橋さん（中央）

さくらボードゲーム会は世界各国のアナログボードゲームを使い、交流会を開いたり、児童館や福祉施設でボランティアをしている団体です。代表の高橋和成さんは「テレビゲームやスマートフォンが普及している今こそ、大人も子どもも顔と顔を合わせ、コミュニケーションをとりながら楽しむボードゲームを広めたい」と話しています。

さくらボードゲーム会の活動は、広報しばた・お知らせ版やFacebookでご覧いただけます。ご興味がある方はぜひ、会の活動に足を運んでみてください。

☆連絡先 柴田町大字船迫字内余川103-2

TEL 090-5843-6675



犬卒都婆地区を盛り上げるために 白石市白川犬卒都婆地区中山間地域等協議会（白石市）



白石市白川犬卒都婆地区中山間地域等協議会は、地域農業の維持管理活動や直売所「羽山産直市場わんこの家」を運営している団体です。わんこの由来は、地区名の「犬卒都婆」からとのこと。

わんこの家では、直売所としては珍しく精肉を取り扱っており、中でもハーブ入り飼料で育てられた豚は、肉のうまみと脂身のあっさりした美味しさが特徴とのこと。

ぜひ、ご賞味ください！

☆連絡先 【わんこの家】

TEL 0224-35-1022



代表の佐藤則夫さん

新会員の紹介

NPO法人余白（柴田町）・さくらボードゲーム会（柴田町）

新たに「NPO法人余白」と「さくらボードゲーム会」の2団体が入会しました！どちらも柴田町を拠点に活動している団体です。

これからどうぞよろしくお願いたします。

【NPO法人余白】人材育成などを通した町づくり活動の実施

（せんなんネットワーク第121号で活動内容をご紹介）

☆連絡先 TEL 080-9077-4037



【さくらボードゲーム会】アナログボードゲームを通した交流活動の実施

（本誌の1ページで活動内容をご紹介）

☆連絡先 柴田町大字船迫字内余川103-2

TEL 090-5843-6675



令和元年度仙南支部委員会開催

令和元年7月31日に宮城県大河原合同庁舎で、みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部委員会を開催しました。

【協議内容】

- ・役員改選について
- ・平成30年度事業実績及び収支決算報告
- ・令和元年度事業計画について



役員改選について

仙南支部の役員の任期は2年間のため、今年度、役員改選が行われました。役員改選の結果、引き続き、支部長に NPO 法人川崎町の資源をいかす会 理事 菊地重雄さんが、副支部長に NPO 法人蔵王のブナと水を守る会 理事長 白内恵美子さんと大河原地方振興事務所 高橋地方振興部長が就任しました。また、新たな委員として、NPO 法人余白 代表 佐藤祥多さんとさくらボードゲーム会 代表 高橋和成さんが就任しました。

令和元年度仙南支部役員・委員体制（敬称略）

～仙南支部役員～

支部長	NPO法人川崎町の資源をいかす会	理事	菊地 重雄
副支部長	NPO法人蔵王のブナと水を守る会 宮城県大河原地方振興事務所	理事長 地方振興部長	白内 恵美子 高橋 悟
監事	仙南広域行政事務組合 企画財政課	主査	目黒 雄太

～仙南支部委員（民間）～

南蔵王高原1・2・3の会	代表	津村 経夫
NPO法人小十郎まちづくりネットワーク	事務局	村上 典彦
NPO法人余白	代表	佐藤 祥多
さくらボードゲーム会	代表	高橋 和成

（この他、仙南支部委員（行政）として、各市町から地域づくり担当者が1名ずつ就任しています）

令和元年度事業計画について

今年度事業計画では、支部交流会を年度後半に開催することが承認されました。「他地域を巻き込んでの開催」など、いただいた多数の御意見を踏まえ、地域づくりに携わる多くの方に参加していただけるよう企画していきます。

また、委員会終了後には情報交換を実施し、委員の皆様の活動内容や各市町の地域づくりへの取組について活発な意見交換が行われました。

地域の情報～仙南郷土料理「おくずかけ」～

「おくずかけ」は数種類の野菜、豆腐、油揚げ、豆麩などをだし汁で煮込み、白石温麺を加えてとろみをつけた、貝だくさんの汁物です。宮城県南部を中心に、春秋の彼岸や、お盆の時期などに供される代表的な郷土料理として伝えられています。

大河原地方振興事務所では、「おくずかけ」のつくり方や提供している飲食店などの情報を発信していますので、ご覧ください。



みやぎ仙南 おくずかけ 動画

検索

仙南圏域地域おこし協力隊交流会開催

県大河原地方振興事務所では、7月30日に白石市のワーキングスペース Syu を会場に、仙南圏域地域おこし協力隊※ 交流会を開催しました。この交流会は市町の垣根を越えて、協力隊員相互つながりづくりを推進し、今後の活動に活かしてもらうことを目的としています。

当日は、仙南地域の1市5町から計11名の隊員が参加し、活動状況を互いに発表するとともに、活動の魅力や課題などについて話し合いました。参加者からは「隊員同士のつながりができてよかった」「他の地域の活動や生活について知ることができ勉強になった」「今後の活動につながる有意義な時間が過ごせた」などといった声が聞かれ、参考になった様子でした。

※ 「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化などに悩む地方において、地域外の方を積極的に受け入れ、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や住民生活の支援など「地域協力活動」を行ってもらい、その地域への定住・定着を図る取組で、地域力の維持・強化を図る制度です。

仙南地域では7市町（白石市、角田市、七ヶ宿町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）に合計37名（令和元年7月1日現在）の隊員が着任しています。

**お知らせ****事務局からのお知らせ****情報提供にご協力をお願いします**

仙南支部では、地域づくりに関するイベントや参加者募集など、皆さまからいただいた情報を支部ホームページに随時掲載します。また、チラシ等も県大河原合同庁舎をはじめとする管内の公共・集客施設等に設置します。

PRしたい情報がありましたら、下記の宛先までお送りください。皆さまからの情報提供をお待ちしています。

会員訪問を実施しています

仙南支部事務局では、会員の皆様の活動状況等についてお伺いするため、会員訪問を実施しています。事務局から連絡させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

本誌についてのご意見や、当支部についてのご意見・ご要望等ありましたら、こちらまでお寄せください。

《みやぎ地域づくり団体協議会仙南支部事務局》

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班

〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南 129-1

電話 0224-53-3199 FAX 0224-53-3076

e-mail oksinbk@pref.miyagi.lg.jp

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/tiikidukuriindex.html>